

ほたる

編集・発行
市木まちづくりセンター
ふる里市木
〒697-0514
島根県浜田市旭町市木
2919-2

電話&FAX
0855-47-0077

市木まちづくりセンターだより E-mail : ichigi-k@ph-hamada.jp



冬景色「天狗石山」(来尾地内)

1月 行事予定

- 1 日(水) 元日
- 3 日(金) 旭の二十歳を祝う会
- 13 日(月) 成人の日
- 20 日(月) 定例会
- 21 日(火) ラ・ブック号 10:00~10:30

すみれのたね
みんなはじけて
おわかれね
大埜 和音さん
(当時小3)

旧市木小卒業生
短歌・俳句

◆月曜日~金曜日(9時~17時)◆
敬老福祉乗車券販売日・証明書発行日
(住民票 印鑑証明 所得課税証明)

市木地区人口 (11月末現在)

地区	世帯数	男	女	計	高齢化率
来尾	18	15	10	25	76%
市木	96	81	102	183	57.38%
総計	114	96	112	208	59.62%

市木と都川の

林道足尾線ウォーキング



11月17日(日)市木と都川合同の林道足尾線ウォーキングを今年も開催しました。当日は、頂上に到着したと同時に雨が降りはじめ、絶景を眺めることができませんでしたが、都川まちづくりセンターで、市木の豚汁と都川の棚田米を美味しくいただきました。また、ヤッホー大会を行われ、大変盛り上がり楽しい時間を過ごしました。



今回、旭中学校2年生の4名がウォーキングに関わってくれました。先導旗の作成や当日の受付、食事の配膳など協力してくれました。



こんにちは！ 県大生です！

11月30日(土)島根県立大学の学生が越木旧越木駅に集合しました。空き家状態である越木駅を活用してほしいという齋木さんの意向で、地域外住民の視点で意見をもらおうと企画したところ、県大生7名が参加してくれました。不安気な顔つきで、案内されるまま飛び込んでみると中途半端な片付けのまま放置している古民家と昔のままの蔵でしたが、県大生の様子が一変しました。「いいじゃん、ここ！」「この蔵、イメージ通り！」などといった会話が聞こえ、予想外の展開でした。次に現地視察で、地域の方々の車に乗り込み、来尾方面や市木神社境内に行き、道中案内人である地元の方の話を聞き、市木地区の現状を共有できたようでした。

後半は、市木生活改善センターにおいて、市木地区を見て、聞いて、感じたことを語り合いました。今度は、地元の人との顔がこわばり、若い子を相手に何を話せば？どうしようかと緊張の面持ちですが、これもあつという間に解凍され、和気あいあいとした雰囲気の中で語り合いました。

これを機に、次回からも地域の明るい未来を模索しましょう。



旭小 3 年生「地域交流会」

11月25日(月)市木ふれあい広場において、旭小3年生が地域の人の交流を目的として、市木・来尾ゲートボール同好会の皆さんと一緒にゲートボールを行いました。元気な声が響き渡り、楽しい時間を過ごしました。



寿命が延びーる「大人のがん教育」

11月28日(木)市木生活改善センターにおいて、健康教室を開催しました。島根県がん教育外部講師、田淵直子さんを講師にお招きし、寿命が延びーる「大人のがん教育」をテーマにお話していただきました。がんの原因の半分以上が生活習慣であり、生活習慣の改善で予防できるがんもあることや、食事や睡眠の大切さを学びました。



旭小 5 年生

「旭を守る人・盛り上げる人から学ぶ」



12月2日(月)旭小5年生「旭を守る人・盛り上げる人から学ぶ」の学習で、さつまいも農家をしておられる徳川義政さん(平松)からお話をさせていただきました。

なぜさつまいも農家になったのか、どのような思いで仕事をしているのか、工夫していることなどを分かりやすくお話されました。子ども達は、たくさんメモを取りながら話を聞いていました。



短歌 俳句

久方に 級友等との 語らひは

何時もに増して 饒舌となり

落葉掃き 掃けども掃けど 散り敷いて

恨めしく見上ぐ そそり立つ木々

中間 和枝



手に取って 見れば買いたい 新手帳

三日坊主が 三月を笑う

茶をすする 師走この時期 やり残し

ため息ついて 次年に繰越 向井 満樹

木枯らしに 舞い散る紅葉よ どこへ行く

私の胸中は 悲喜交、交なり

震ふり 姉も愛犬も 黄泉へいく

思い出多く 残してくれた ちえみ

亡き友よ 語る言葉も 失いて

寒空に 雲の流れぞ 穏やかに 織田カツ子

栗ご飯 それより俺は モンブラン

霜柱 さくさく踏んで 行進だ 大賀勇久史

小学生人権標語より

助け合おう みんなの笑顔が あたたかい

懐かしきあの頃 訪ね聞いてみた!



今月の登場者は 松崎 英一さん (越木) です!

写真の如く若者風ですが、当年 71 歳です。越木の住宅に 4 年前、2020 年 10 月に奥様とともに川本町から転入されました。転入の動機は、開口一番、川、鮎釣り、ヤマメ釣りの言葉が飛び出しました。子どものころから毎日釣りをして、その楽しさが忘れられず、リタイヤしたら自然豊かな八戸川の近くにと、考えておられたそうです。また、各地のスキー場巡りも好きで、インターが近くにあったのもこの地を選んだ理由だそうです。

野外活動を好み活動的ですが、別の一面として人見知りで、年を取るにつれ人と関わるのが大の苦手となり、旅行は気心知れた奥様と、釣りも釣り人の来ない場所を選んで、独りのんびりすることがいいそうです。今後やりたいことは、青森からフェリーに車を積み津軽海峡を渡り、冬の北海道を走ってみたいそうです。そして、フェリーの中で石川さゆりの「津軽海峡冬景色」を聴きながら海の上から竜飛岬を見てみたいそうです。

市木まちづくりセンター職員紹介



皆様、はじめまして。
この度、市木まちづくりセンターに勤務させていただく平石博幸と申します。
都川地区出身ですが、長らく旭町を離れており、44 年ぶりに戻ってまいりました。
まちづくりセンターの仕事は初めてとなり、色々わからないことばかりですが、皆様のお役に立てますよう頑張りますので、ご指導いただけますようよろしくお願い致します。

お礼

神奈川県在住・楠本未来様より、お菓子等をいただきました。ありがとうございました。

ふる里市木会長 徳川 博